

外国語活動学習指導案（第5学年）

1 単元名 「夢の時間割を伝え合おう」（“Hi, friends! 1” Lesson 8）

2 考察

(1) 教材観

これまで外国語活動の時間では、慣れ親しんだ簡単な英語表現を使って、自分の好きなものを伝えたり、友達に何が好きかをインタビューする交流活動を行ってきた。かるたやビンゴといったゲームだけでなく、今まで知らなかった友達のことを知ったり、自分のことを伝えたりする活動を行う中で友達と関わる楽しさを感じてきている。

「時間割」は学校生活の中でもっとも身近な教材である。本単元では、本来学習を目的とし、児童にとっては「楽しい！」と言い難い学習時間割を、「こんな教科があったらいいな」というわくわくする思いをもってオリジナルで作成し、「夢の時間割」を伝え合うコミュニケーション活動に取り組む。慣れ親しむ場面では、英語表現とともに言葉によらないコミュニケーション手段をたくさん使って活動することで、相手の思いを受け止めて相手が気持ちよく話せるように反応できるようになると思われる。また、コミュニケーションの場面では、自分が考えた「夢の教科」やその理由、こんなことをがんばりたいという思いなどを、自分で言い表したい英語表現や日本語、言葉によらないコミュニケーション手段を使って、自分が伝えたい方法（クイズ、イラストなど）で伝える。このことにより、児童一人一人が自分の思いを表現しようとし、気持ちのこもったコミュニケーション活動になると考える。

そこで、既習の英語表現や英語で相手をほめる・励ます言葉、ジェスチャー、表情など、自分の思いを分かりやすく相手に伝えたり、相手の思いをくみ取ろうと聞いたりする手段を児童自ら選択して使う「なかよしスイッチ ON!」を取り入れた交流活動を行っていくこととした。「なかよしスイッチ」とは、自分の思いを伝え合うためのスイッチである。具体的には、既習の英語表現、英語で相手をほめたり励ましたりする「なかよし言葉」、言葉を補うコミュニケーション手段であるジェスチャー、表情、うなずきなどである。「こう伝えたい」「こう聞きたい」を考えて、自分で選び意識して使うこと、これが「ON!」である。「なかよしスイッチ ON!」とは、自分の思いを伝え合うためには、コミュニケーション手段を工夫していくことが必要であることを認識し、「なかよしスイッチ」の中から自分で選んで使って交流していこうという意識をもって、聞く側に分かりやすく伝えたり、話す側の思いに気持ちを向けて聞いたりする状態のことである。なかよしスイッチは一人一人の心の中にあり、ONするスイッチは児童によって違う。また、活動によってスイッチも変わってくる。児童自らスイッチをONにすることで、無理なく、楽しく、自分の思いを伝え合うことができるであろう。

このように本単元は、児童一人一人が自分の思いを表現しようとしたり、友達の思いを受け止めようとしたりしようとする意欲を伸ばし、友達とかかわって自分の思いを生き生きと伝え合うことができることができる題材であると考えられる。

(2) 児童の実態及び指導方針

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・ 児童は活動的な教科を好む傾向があることがアンケートより分かったので、外国語活動でも机の上で行うゲームより、歩きながら交流したり、たくさん声を出したりする活動を行っていくことで、意欲を高めていきたい。

外国語への慣れ親しみ

- ・ なかよし言葉については、92%の児童が言えているので、さらに、相手の気持ちや言うタイミングを考えて言えるようにしたい。
- ・ 本単元の新出表現である時間割については、54%の児童が「どの教科の言い方も知らない」と

答えている。実際には“English”は始業前に日直が言っているし、“music”はテレビの番組にもある。知っている外来語などと組み合わせながら、楽しく覚え交流できるようにするとともに、ゲームを通して教科の英語表現に慣れ親しませていきたい。

言語・文化に関する気付き

- ALTの発音をまねして英語独特の発音にも慣れてきている。教科の英語表現は全く知らない児童がほとんどなので、聞いたことがあると思われる英語表現とかかわらせて、発音の相違点、共通点に気付かせたい。

3 研究とのかかわり

学習指導要領における外国語活動の目標「外国語を通じて、コミュニケーション能力の素地を養う。」を受けて、「はばたく群馬の指導プラン」では「相手の思いを理解しようとしたり積極的に自分の思いを伝えようとしたりして、思いを伝える大切さを実感する児童の育成」を目指している。

本単元では、自分が考えた教科を入れた「夢の時間割」やその理由を「なかよしスイッチ ON!」で伝え合う交流をすることで、自分の思いを表現したり、相手の思いを受け止めたりすることができる。また、「なかよしスイッチ」をONして、友達に伝えたいことが伝えられた、相手の伝えたいことが分かったという成功体験を積むことで、相手とかかわって思いを伝え合うことの大切さ、楽しさを感じ、生き生きと自分の思いが表現できるようになると思われる。

4 単元の目標

様々なコミュニケーション手段を工夫して、夢の教科やそれを学習してみたい理由、その教科への思いなどを、一人一人が人とかかわって楽しく伝え合う。

5 主な表現や語彙

- 場面 「夢の時間割を伝え合う」「ほめる、はげます」
- 新出表現 What do you study on (曜日)? I study (教科) on (曜日).
教科 (Japanese, calligraphy, social studies, math, science, English, music, arts and crafts, home economics, P.E.)
曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
- 語彙
 - ・共通して使うもの: How are you? Why? Because~. Here you are. Thank you.
 - ・選択して使うもの: I'm (happy, sleepy, good hungry, など)
なかよし言葉 (Good, Excellent, Wonderful, What?, That's right, Yes, OK! など)

6 指導計画 (全5時間)

評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	進んで友達とかかわり、様々なコミュニケーション手段を使って夢の時間割を伝え合う活動をしている。	
	外国語への慣れ親しみ	曜日や時間割についての英語表現や時間割を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむ。	
	言語・文化に関する気付き	外国の小学校や授業に興味をもち、日本との共通点や違いに気付いている。	
時間	過程	伸ばしたい資質・能力	主な学習活動 (【 】は主なかよしスイッチ)
		コミュニケーション能力の素地	

第1時	つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 今日の気分を、英語や言葉によらないコミュニケーション手段を使って話したり聞いたりしようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手が気持ちよく話せるような聞き方をすることの大切さへの気付き。 外国の学校生活への興味・関心と日本の学校生活との共通点、相違点への気付き。 教科の英語表現を用いて、友達と好きな教科やその理由を伝え合おうとする態度。 	【身ぶり手ぶり、顔の表情、声、アイコンタクト、うなずき】 <ul style="list-style-type: none"> あいさつ 外国の学校生活 「好きな教科を伝えよう」ゲーム
第2時	慣れる	<ul style="list-style-type: none"> ALTとHRTの会話の内容を場面から推測する力。 話し手が気持ちよく話せるように、アイコンタクト、うなずき、なかよし言葉を使って、相手の伝えたいことを受け止めようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科の英語表現や学習する教科を尋ねたり答えたりする英語表現への慣れ親しみ。 	【単元の英語表現、なかよし言葉】 <ul style="list-style-type: none"> Missing ゲーム かるた 伝言ゲーム カード交換ゲーム
第3時			<ul style="list-style-type: none"> 教科や曜日、学習する教科を尋ねたり答えたりする英語表現を使って、相手に伝えたいことを伝える力。 	【単元の英語表現、なかよし言葉】 <ul style="list-style-type: none"> 時間割を伝えようゲーム
第4時			<ul style="list-style-type: none"> 自分が伝えたいことを表す英語表現やそれを伝えるためにどんなコミュニケーション手段を使うか考える力。 	【なかよし言葉、ジェスチャー】 <ul style="list-style-type: none"> 3ヒントクイズ
第5時	広げる	<ul style="list-style-type: none"> 英語や言葉によらないコミュニケーション手段を使って、自分の思いを表現したり、相手の思いを理解しようとする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えた夢の時間割を、伝え方を工夫して、今までに学習した英語表現や自分が言いたいことを表す英語表現を用いて、相手に伝えたいことを伝える力。 	【自分が言い表したい英語表現、自分で選んだコミュニケーション手段】 <ul style="list-style-type: none"> 「夢の時間割」を伝え合おう

《第1時》

- (1) ねらい
 - 教科の英語表現を知り、相手が気持ちよく話せるような聞き方を工夫しながら友達と楽しく活動する。
 - 外国で学習する教科に興味をもち、日本との共通点や違いに気付く。
- (2) 使用表現

How are you? I'm～. Why? なかよし言葉

教科 (Japanese, math, social studies, science, English, music, arts and crafts, home economics, calligraphy, P.E.)
- (3) 準備

Hi, friends!1、デジタルHi, friends!1、パソコン、プロジェクタ、スクリーン、CDラジカセ、CD、教科カード (大1, 小40組)、振り返りカード
- (4) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援 (◎研究上の手だて) ◇評価の観点	
		HRT	ALT
【Greeting】 1 「なかよしスイッチ ON!」を確認する。	3	◎ ALTと HRTのモデルから、話し手が気持ちよく	ON!」を確認する。 ・ HRTとスイッチONとOFFのあいさつをし、ONの聞き方の心地良

		く話せるような聞き方を考えさせ、特に本単元では「聞き方」を意識して活動を行っていくことを知らせる。	さに気付かせ、心のこもった交流への意欲を高める。
<p>[Warm up]</p> <p>2 自分の「なかよしスイッチ」を決めて友達とあいさつをする。</p> <p>◇How are you? I'm～. Why? Because～.</p>	3	<p>◎あいさつをするときの自分のスイッチ（ジェスチャー、声、アイコンタクトなど）を決めて、「なかよしスイッチ ON!」で交流するように声をかける。</p> <p>◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするために、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かったところをほめ合うように指示する。</p>	<p>・児童と積極的に会話を する。</p>
<p>[Presentation]</p> <p>3 他国の学校の学習の様子を聞き、興味をもつ。</p> <p>・ALTにアメリカの話聞く。</p> <p>・他国の様子を担任に聞く。</p> <p>・Hi, friends! 1 p, 34 Let's Listen 2を聞き、オーストラリア、中国の学校生活の様子を知る。</p>	14	<p>・ALTにアメリカと日本の教科の相違点について尋ねる。</p> <p>・他国への興味をもたせるために他国ではどんな教科があるかをクイズ形式にして児童に知らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>タイ…ダンス イギリス…宗教 ウクライナ…伝統文化 (民族舞踊、歌、料理、祝日の祝い方) ブラジル…音楽の授業はない。 チェコ…庭仕事</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇外国の学校生活に興味をもって話を聞き、日本との違いや共通点に気付いている。(観察、ワークシート、振り返りカード)【言】</p> </div> <p>・教師の話の聞いたり、デジタル教材を見たりして、分かったことをワークシートに書くことで、日本と外国の学校生活の共通点や相違を明らかにする。</p>	<p>・アメリカの学校生活や教科について話を する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・入学式がない。 ・スクールバスで通学 ・教科書は学校で借り、鉛筆、消しゴムは学校にある物を使う。全部学校に置いて帰る。 ・留年がある。</p> </div>
<p>[Practice]</p> <p>4 教科の英語表現を知る。</p>	10	<p>・日本で学習している教科を発表するように促し、児童が覚えやすいように、聞いたことのある外来語に関連させて伝える。</p>	<p>・英語でゆっくりと分かりやすく発音する。</p>
<p>[Activity]</p> <p>5 「好きな教科を伝えよう」ゲームをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「好きな教科を伝えよう」</p> <p>①好きな教科を決め、自由に歩き回って、理由とともに友達に伝える。</p> <p>②うなずき、アイコンタクト、なかよし言葉を意識して、相手の話を聞く。</p> </div>	10	<p>◎児童に聞き方の見本を示すために、なかよし言葉やアイコンタクトなどを意識したモデル会話を行う。</p> <p>◎話す側が「話して良かった。聞いてもらって良かった。」と感じ取れるような聞き方を意識して交流するように伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ALT/HRT: Hello! ALT: I like math. HRT: Oh! Math? Why? ALT: Because 計算が得意だから。 HRT: Very good! A: Thank you.</p> </div>	<p>・児童とともに会話をし、英語の発音や、聞き方の見本になる。</p>
<p>[Closing]</p> <p>6 本時の活動を振り返り、感想を発表する。</p> <p>・振り返りカードに記入する。</p>	5	<p>・今日の活動では何を意識し、どんなことをしたかを思い出すことで、「なかよしスイッチ ON!」の活動を振り返れるようにする。</p> <p>・特に聞き方が上手な児童の名前を挙げさせ、</p>	<p>・児童が「なかよしスイッチ ON!」で活動していることに対して、「Great!」「Good!」</p>

	賞賛することで、聞き方を意識させる。 ・数名の児童を指名し、今日の授業の気付きを 学級全体で共有する。	などの言葉やジェスチャーで児童を賞賛する。
◇うなずき、アイコンタクト、なかよし言葉など、話し手が気持ちよく話せるような聞き方を工夫して、教科の英語表現を使って友達と仲良く交流している。(観察、振り返りカード点検) 【コ】		

板書計画 (なかよし言葉については、複数箇所に掲示する。)

あったらいいな！夢の時間割！

I like ~.

教科の絵カード

なかよしスイッチ

言葉	言葉以外
学習した英語 なかよし言葉	ジェスチャー 顔の表情 声の表情 声の大きさ など

ON!

気持ちを合わせて聞く
 うなずく
 目を見る
 なかよし言葉を言う

Today's menu
 外国の学校生活は？

 好きな教科を
 伝えようゲーム

なかよし言葉

【コミュニケーションを楽しむための3つのポイント】

《第2時》

- 1 ねらい 目を合わせてうなずいたり、なかよし言葉を言ったりしながら、ゲームを通して曜日や教科の英語表現に慣れ親しむ。
- 2 使用表現 How are you? I'm~. What do you study? I study~. なかよし言葉 教科 (Japanese, math, social studies, science, P.E, など) 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
- 3 準備 Hi, friends!1、教科カード (大1、小40組)、曜日カード (大1)、ワークシート、振り返りカード
- 4 展開

学習活動	時間	指導上の留意点	
		HRT	ALT
[Greeting] 1 「なかよしスイッチ ON!」を確認する。	3	Today's Menuを提示し、「なかよしスイッチ ON!」を確認する。	
[Warm up] 2 自分の「なかよしスイッチ」を決めて友達とあ	3	◎あいさつをするときの自分のなかよしスイッチ (ジェスチャー、アイコンタクトなど) を	・HRTと「なかよしスイッチ ON!」であいさつをし、交流への意欲を高める。 ・児童と積極的に会話を

<p>いさつをする。 ◇How are you? I'm～. Why? Because～.</p> <p>3 曜日、教科の歌を歌う。</p>	<p>決めて、「なかよしスイッチ ON!」で交流するように声をかける。</p> <p>◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするために、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かったところをほめ合うように指示する。</p> <p>・楽しい雰囲気の中で教師も一緒に活動することで、外国語活動への意欲をもてるようにする。</p>			
<p>[Activity]</p> <p>4 教科の英語表現や学習する教科を尋ねたり答えたりする英語表現を聞いたり言ったりして、友達と協力してゲームをする。</p> <p>・Missingゲーム ・かるたゲーム</p>	<p>14</p> <p>◎なかよし言葉を一人一人が意識して使うようなゲームを多く行い、なかよし言葉を言う機会を多くするとともに、教科の表現、学習する教科を尋ねたり答えたりする表現に親しむことができるようにする。</p>	<p>・ジャスチャーや英語表現で、児童にわかりやすく伝える。</p>		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p>「Missingゲーム」</p> <p>①黒板に掲示してある英語表現のうち、ALT が1～2枚隠す。 ②ペアで協力して隠されたカードは何かを答える。 ③合っていたらみんなでなかよし言葉を言ってほめる。</p> </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p>「かるたゲーム」</p> <p>①4人グループで行う。 ②児童が「What do you study?」とALTに質問し、ALTの答えた教科のカードを言いながら取る。 ③最後にグループチャンピオンを、なかよし言葉を言ってみんなで賞賛する。</p> </td> </tr> </table>			<p>「Missingゲーム」</p> <p>①黒板に掲示してある英語表現のうち、ALT が1～2枚隠す。 ②ペアで協力して隠されたカードは何かを答える。 ③合っていたらみんなでなかよし言葉を言ってほめる。</p>	<p>「かるたゲーム」</p> <p>①4人グループで行う。 ②児童が「What do you study?」とALTに質問し、ALTの答えた教科のカードを言いながら取る。 ③最後にグループチャンピオンを、なかよし言葉を言ってみんなで賞賛する。</p>
<p>「Missingゲーム」</p> <p>①黒板に掲示してある英語表現のうち、ALT が1～2枚隠す。 ②ペアで協力して隠されたカードは何かを答える。 ③合っていたらみんなでなかよし言葉を言ってほめる。</p>	<p>「かるたゲーム」</p> <p>①4人グループで行う。 ②児童が「What do you study?」とALTに質問し、ALTの答えた教科のカードを言いながら取る。 ③最後にグループチャンピオンを、なかよし言葉を言ってみんなで賞賛する。</p>			
<p>・伝言ゲーム</p>	<p>10</p> <p>・ゲームの方法をHRTが児童と一緒に行って見本を示すことにより、理解しやすくする。</p> <p>◎なかよし言葉を言う声の大きさや種類の豊かさなどで、獲得ポイントが決定することを伝え、一人一人がしっかりとなかよし言葉が言えるようにする。</p>	<p>・手に取るピクチャーカードが重複しないよう、一番後ろの児童に、それぞれ違う教科の表現を伝え、ゲーム開始の合図をする。</p>		
<p>「伝言ゲーム」</p> <p>①列の一番後ろの児童に「I study(教科).」を伝える。 ②次の人は「What do you study?」と聞き、伝える児童は耳元で「I study(教科).」と言いい、次々に伝言していく。 ③一番前の児童は黒板にはってあるピクチャーカードを取り、グループの児童に「What do you study?」と聞かれたら、大きな声で「I study(教科).」と答える。 ④合っていたらその列の児童が大きな声でジェスチャーをしながらなかよし言葉を言う。声の大きさとジェスチャーによって、担任が獲得ポイントを決める。</p>				
<p>・カード交換ゲーム</p>	<p>10</p> <p>◎ALTとHRTのモデル会話で、ゲームのやり方、なかよし言葉の言い方、カードの交換の仕方を丁寧に行い、やり方を児童に徹底させる。</p>	<p>HRT/ALT: Hello! HRT: What do you study? (1枚教科のカードを見せる) ALT: I study Math. HRT (合っていたら) Excellent! (なかよし言葉) Here you are. (カードを渡す) ALT: Thank you. (カードをもらう)</p>		
<p>「カード交換ゲーム」</p> <p>①教科のカードを1枚もつ。 ②「What do you study?」と言いながらカードを見せる。 ③相手が「I study ～.」と言いい、合っていたらなかよし言葉を言って、カードを渡す。 ※場合によっては2枚でも可</p>				
<p>[Closing]</p> <p>5 本時の活動を振り返り、感想を発表する。</p> <p>・振り返りカードに記入する。</p>	<p>5</p> <p>・今日の活動では何を意識し、どんなことをしたかを思い出すことで、「なかよしスイッチ ON!」の活動を振り返れるようにする。</p> <p>・数名の児童を指名し、今日の授業の気付きを</p>	<p>・児童が「なかよしスイッチ ON!」で活動していることに対して、「Great!」「Good!」</p>		

	学級全体で共有する。	などの言葉やジェスチャーで児童を賞賛する。
◇教科や学習する教科を尋ねたり答えたりする英語表現、なかよし言葉を使って、友達と楽しくゲームで交流している。(観察、振り返りカード点検)【コ】		

板書計画 (なかよし言葉については、複数箇所に掲示する。)

あったらいいな！夢の時間割！

What do you study?

I study ~.

教科の絵カード

なかよしスイッチ

言葉	言葉以外
学習した英語 なかよし言葉	ジェスチャー 顔の表情 声の表情 声の大きさ など
ON!	

気持ちを合わせて聞く

うなずく
目を見る
なかよし言葉を言う

なかよし言葉

【コミュニケーションを楽しむための3つのポイント】

Today's menu

Missing ゲーム

かるたゲーム

伝言ゲーム

カード交換ゲーム

《第3時》

- (1) ねらい 相手の目を見たり、なかよし言葉を言ったりして友達と交流し、時間割を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむ。
- (2) 使用表現 How are you? I'm~. Why? What do you study on (曜日)? I study~.
なかよし言葉
教科 (Japanese, math, social studies, science, P.E, など)
曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
Do you like~?
- (3) 準備 Hi, friends!1、曜日カード (大1、小40)、教科カード (大1、小40組)、時間割ワークシート、振り返りカード
- (4) 展開

学習活動	時間	支援および指導上の留意点	
		HRT	ALT
<p>[Greeting]</p> <p>1 「なかよしスイッチ ON!」を確認し、特に「聞き方」を意識して友達とあいさつをする。</p> <p>◇How are you? I'm~. Why? Because~.</p>	5	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Today's Menuを提示し、「なかよしスイッチ ON!」を確認する。</div> <p>◎「なかよしスイッチON」を確認し、友達とちょっと仲良くなるために様々なコミュニケーション手段を使って交流していこうという意欲付けをする。</p> <p>◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするため、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HRTと「なかよしスイッチ ON!」であいさつをし、交流への意欲を高める。 ・児童と積極的に会話を

2 曜日、教科の歌を歌う。	5	<p>ところをほめ合うように指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で教師も一緒に活動することで、外国語活動への意欲をもてるようにする。 	
<p>[Review]</p> <p>3 カード交換ゲーム Part2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「カード交換ゲーム Part2」</p> <p>①教科と曜日のカードを1枚ずつもつ。</p> <p>②「What do you study?」と言いながらカードを2枚見せる。</p> <p>③相手が「I study(教科)on(曜日.)」と答え、合っていたらなかよし言葉を言って、カードを渡す。</p> </div>	10	<p>◎ALTとHRTのモデル会話で、ゲームのやり方、なかよし言葉の言い方、カードの交換の仕方を丁寧に言い、やり方を児童に徹底させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ALT/HRT: Hello!</p> <p>ALT: What do you study? (教科と曜日のカードを1枚ずつ見せる)</p> <p>HRT: I study music on Friday.</p> <p>ALT: (合っていたら) Excellent! (なかよし言葉)</p> <p>Here you are. (カードを2枚とも渡す)</p> <p>HRT: Thank you. (カードをもらう)</p> </div>	
<p>[Main activity]</p> <p>4 「時間割を伝えようゲーム」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALTと児童で行う。 	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに月～金曜日、1～4時間目までの時間割を、10教科を入れて作るように指示する。 ・ はじめに、ゲームのやり方を説明するために、ALTと児童全員でゲームを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>児童全員: What do you study on Monday?</p> <p>ALT: On Monday I study math, Japanese, P.E. and music. (ワークシートにALTの時間割を記入する)</p> <p>児童全員: (ALTの方にメモした時間割を見せながら) Math, Japanese, P.E, music. OK?</p> <p>ALT: Good job! 児童全員: Thank you.</p> </div> <p>◎モデル会話で、しっかり相手の目を見て交流する場面、なかよし言葉を言う場面をはっきり示し、意識して活動できるようにさせる。</p> <p>◎たくさんの児童に進んで声をかけ、児童がアイコンタクトやうなずき、なかよし言葉を使って交流しているかを見取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 達成感と活動への意欲をもたせるために、正しく聞き取れた友達には、サインをしてあげるように指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇アイコンタクト、うなずきを意識し、なかよし言葉を使って、時間割を尋ねたり答えたりしている。(観察、振り返りカード)【外】</p> </div>	
<p>[Closing]</p> <p>5 本時の活動を振り返り、感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカードに記入する。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の活動では何を意識し、どんなことをしたかを思い出すことで、「なかよしスイッチON!」の活動を振り返れるようにする。 ・ 数名の児童を指名し、今日の授業の気づきを学級全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が「なかよしスイッチ ON!」で活動していることに対して、「Great!」「Good!」などの言葉やジェスチャーで児童を賞賛する。

板書計画（なかよし言葉については、複数箇所に掲示する。）

《第4時》

- (1) めあて あったらいいと思う「夢の教科」を考え、その英語表現を知るとともに、伝え合う交流の仕方を考える。
- (2) 使用表現 How are you? I'm~. Why? What do you study on (曜日)? I study~.
 なかよし言葉
 What's this? special subject
 教科 (Japanese, math, social studies, science, P.E, など)
 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
- (3) 準備 ワークシート、 振り返りカード
- (4) 展開

学習活動	時間	支援および指導上の留意点	
		HRT	ALT
[Greeting] 1 「なかよしスイッチ ON!」を確認し、特に「聞き方」を意識して友達とあいさつをする。 ◇How are you? I'm~. Why? Because~.	5	Today's Menuを提示し、「なかよしスイッチ ON!」を確認する。 ◎「なかよしスイッチON」を確認し、友だちと もっと仲良くなるために様々なコミュニケーション手段を使って交流していこうという意欲付けをする。 ◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするために、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かったところをほめ合うように指示する。	・HRTと「なかよしスイッチ ON!」であいさつをし、交流への意欲を高める。 ・児童と積極的に会話をする。
2 曜日、教科の歌を歌う	5	・楽しい雰囲気の中で教師も一緒に活動することで、外国語活動への意欲をもてるようにする。	
[Review] 3 時間割を伝え合う英語表現を思い出す。	10	◎児童がspecial subjectを相手に伝える方法を考えるときのヒントになるように、絵カード、ジェスチャー、英語表現、実物提示などでクイ	

<p>・ 3 ヒントクイズ</p>		<p>ズを行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3 ヒントクイズ</p> <p>①ALTが言う3つのヒントを聞き、何の教科かを答える。 ②答えた人に大きな声でなかよし言葉を言い、賞賛する。 ③即興で問題が出せる児童を募り、ALTと協力して問題を作成し、HRTとその他の児童で答える。</p> </div>
<p>[Presentation]</p>			
<p>4 デモンストレーションを見て、「夢の時間割」を伝え合う交流活動のやり方を知る。</p>	<p>3</p>	<p>◎次時の交流の見通しをもたせるために相づちを打ったりジェスチャーを交えながらゆっくりとわかりやすくやりとりを試みせる。 ◎次時に気持ちを込めた交流ができるように、夢の教科に対する思いや相手に楽しく伝える方法を考えるように伝える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ALT: What do you study on Tuesday? HRT: (自分の作った時間割を見せ、指で指しながら) On Tuesday, I study science, P.E. special subject, Japanese, and music. ALT: What?(special subjectを指さして) HRT: Hint 1 ~、Hint 2 ~ ALT: Violin! HRT: Yes. That's right! ALT: Why? HRT: Because I like Violin. 小さい頃、習っていたんだよ。バイオリンの授業があったらみんなと合奏が出来て楽しそうだから。 ALT: What song do you play? HRT: I play Mickey Mouse march. ALT: Fantastic! HRT: Thank you.</p> </div>
<p>[Main activity]</p>			
<p>5 「夢の教科」を考え、「夢の時間割」を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢の教科 ・ 理由やその教科に対する思い ・ 「夢の教科」を入れた「夢の時間割」 ・ 伝える方法 (クイズ、絵、ジェスチャー、実物など) 	<p>17</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「夢の教科」が思いつかない児童には、好きなことを聞いたり、今夢中になっていることを聞いたりして、具体的に教科をイメージするように助言する。 ◎伝えたいことを伝えたい方法で相手に伝えるために、それにあつた教材、教具を作成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「夢の教科」を児童から聞き、英語表現を伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「時間割作成の注意」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10教科 + special subject ・ 「special subject」は毎日必ず入れる。 教科は書かずに、マーカーでぬる。 ・ 同じ教科は1日2時間まで。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>「夢の教科」を考えて時間割を作成し、楽しく伝え合う方法や、その教科に対する思いを考えている。(児童観察・ワークシートの記述、振り返りカード点検)【コ】</p> </div>
<p>[Closing]</p>			
<p>6 まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次時の目標を考えてワークシートに記入し、発表する。 	<p>5</p>	<p>◎相手にどんな風に伝えたいか、どんな工夫をするかなど、活動の視点を与えて目標を立てさせる。 ◎次時の活動にいかすために、話す側と聞く側の「なかよしスイッチ」を考えさせ、ワークシートに記入させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 励ましの言葉をかけ、交流への意欲を高める。

板書計画（なかよし言葉については、複数箇所に掲示する。）

「夢の時間割」を
伝え合おう!

時間割を作るとき注意

① 10教科+Special subject
② 「Special subject」は毎日、
教科は書かず、マーカーである。
③ 同じ教科は1日2時間まで

なかよしスイッチ

言葉

学習した英語
なかよし言葉

言葉以外

ジェスチャー
顔の表情
声の表情
声の大きさ
など

ON!

なかよし
言葉

special subject

どんな学習？伝え方は？
理由は？

「夢の時間割」を伝え合おう!

Name ()

	月	火	水	木	金
	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1					
2					
3					
4					
5					
6					

めあて

Special subject

教科を記入するところ

Discussion

へが得意、こんなことに興味がある、好きなことなどを書いて、みんなに発表しよう。

気持ちを合わせて聞く

うなずく
目を見る
なかよし言葉を言う

Today's menu

3ヒントクイズ

夢の教科を考えよう

補助黒板

あったらいいな！夢の時間割！

What do you study on (曜日) ?

I study (教科) on (曜日) .

教科の絵カード

曜日の絵カード

《第5時》

- (1) めあて 様々なコミュニケーション手段を使って、自分で考えた「夢の教科・時間割」を気持ちを含めて伝え合う交流活動を通して、一人一人が思いを伝え合う喜びを感じる。
- (2) 使用表現 How are you? I'm~. Why? What do you study on (曜日)? I study~.
なかよし言葉 What's this? special subject, Hint, please.
教科 (Japanese, math, social studies, science, P.E, など)
曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
- (3) 準備 児童が作成した夢の時間割ワークシート、振り返りカード、
- (4) 展開

学習活動	時間	支援および指導上の留意点	
		HRT	ALT
<p>[Greeting]</p> <p>1 「なかよしスイッチ ON！」を確認し、特に「聞き方」を意識して友達と</p>		<p>「なかよしスイッチON！」を確認する。</p>	<p>◎ 「なかよしスイッチON！」を確認し、友だちと もっと仲良くなるために様々なコミュニケー</p> <p>・「なかよしスイッチ」 をONにし、児童と積</p>

<p>あいさつをする。 ◇How are you? I'm~. Why? Because~.</p>	5	<p>シオン手段を使って交流していこうという意欲をもたせる。</p> <p>◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするために、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かったところをほめ合うように指示する。</p>	極的に会話をする。
<p>2 曜日、教科の歌を歌う。 3 本時のめあてを発表する。</p>	3 5	<p>・教師も一緒に活動することで、楽しい雰囲気を作り出すようにする。</p> <p>・隣や近くの児童と自分のめあてを読み合うことで、友達のめあてが分かり、良さに気付く。</p> <p>◎「なかよしスイッチON!」に照らし合わせて、めあてが特に具体的になっている児童を意図的に指名して賞賛する。</p>	
<p>[Presentation&Practice]</p> <p>4 「夢の時間割」を伝え合う交流活動のやり方を確認する。</p> <p>・ALTとHRTのモデル会話を見る。</p> <p>・ALTチームとHRTチームに分かれて、一斉に夢の時間割を伝え合う練習をする。</p>	10	<p>◎交流のお手本になるように、相手の考えを引き出すような質問をしたり、なかよしスイッチON!がよく分かるような伝え方をしたりする。 (ジェスチャー、声の調子、目を見て、なかよし言葉など)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ALT: What do you study on Tuesday? HRT: (自分の作った時間割を見せ、指で指しながら) On Tuesday, I study science, P.E. special subject, Japanese, and music. ALT: What's this?(special subjectを指さして) HRT: Hint 1 紙 ALT: Origami? HRT: No. ALT: Hint, please. HRT: Yes. (ジェスチャーをする) ALT: Dart? HRT: No. Hint 3 (実物を見せる) ALT: Oh! Paper airplane? HRT: Yes. That's right! I study paper airplane. ALT: Why? HRT: Because I like origami. 紙飛行機は上手に折ると、遠くまで飛ぶから、いろいろ工夫して遠くまで飛ぶような紙飛行機を作りたい! ALT: Fantastic! HRT: Thank you. (終わったらメッセージシールにコメントを書く) ALT: OK. Here you are. HRT: Thank you.</p> </div> <p>・「special subject」「What's this?」「Hint, please」は聞き慣れない表現なので、繰り返し発話し、慣れるようにする。</p> <p>・モデル会話の後、HRTチームとALTチームに分かれて、隣同士で実際に会話をし、メッセージシールの交換まで行うことで、活動の方法を児童に体験的に伝える。</p>	<p>・児童の見本になるように、言葉によらないコミュニケーション手段を工夫して会話をする。</p>
<p>[Main activity]</p> <p>5 自分が考えた「夢の時間割」を、「なかよしスイッチ ON!」を意識していろいろな友達と語り合う交流活動をする。</p> <p>・隣同士で行う。</p> <p>・自由に歩き回って行う。</p> <p>・交流の最後に、メッセージ交換をする。</p>	15	<p>◎交流の初めにペアでやりとりさせることで、児童が自信をもって友達と交流できるようにする。</p> <p>・児童の様子を見て回り、活動にうまく取り組めない児童には伝え方を支援したり、励ましたりしながら一緒に活動する。</p> <p>◎途中で、自分の考えを言葉や言葉によらないコミュニケーション手段を工夫してしっかりと伝えている児童や、うなずきながら友達の話をよく聞いている児童、なかよし言葉をたくさん使っている児童、自分のめあてが達成できるように努力している児童をほめて、さらに交流への意欲を高める。また、自分のめあてをもう一度確認し、今までの交流の振り返りをさせることで、さらにめあてを意識して交流できるようにさせる。</p>	<p>・たくさんの児童に進んで声をかけ、児童が英語を使う楽しさを味わったり、自信をもって活動したりできるようにする。</p>

	◎メッセージには読んだ相手がうれしくなるような励ましや、共感的な一言を書くように伝える。	
<p>[Closing]</p> <p>6 まとめをする。</p> <p>・友達と夢の教科を伝え合う活動を通して感じたこと、気付いたことを発表する。</p>	<p>7</p> <p>○本時のめあての達成度を振り返るだけでなく、交流を通して気付いたことや感じたこと、考えたことを伝え合い、互いの気付きや感じたことを共有できるようにする。</p> <p>○数名の児童を指名し、今日の授業の気付きを学級全体で共有する。</p>	<p>・児童の「なかよしスイッチ ON」を意識した活動に対して、「Nice」「Very good!」などの言葉やジェスチャーで児童を賞賛する。</p>
<p>◇自分が作った「夢の時間割」を気持ちを込めて伝え合う活動を通して、一人一人が思いを伝え合う喜びを感じている。(行動の観察、ワークシートへの記述)【コ】</p>		

板書計画 (Friendly wordsについては、複数箇所に掲示する。)

「夢の時間割」を 伝え合おう!

What do you study on (曜日)?

I study (教科) on (曜日).

special subject

What's this?

Hint, please.

Why?

なかよしスイッチ

言葉	言葉以外
学習した英語 なかよし言葉	ジェスチャー 顔の表情 声の表情 声の大きさ など

ON!

なかよし
言葉

【コミュニケーションを楽しむための3つのポイント】

うれしい一言メッセージ

メッセージシール

時間割をしっかりと見てもらおう!

心と目を合わせて相手の思いを聞こう!

たくさん質問しよう!

補助黒板

あったらいいな! 夢の時間割!

What do you study on (曜日)?

I study (教科) on (曜日).

教科の絵カード

曜日の絵カード